



オーストラリアの ANNE のブログより

私の夜に闇はない

「思春期の頃、自分の抱える障がいのあまりの重みに、なぜ私は生まれてすぐに死ななかったのかと自問していた。いのちの言葉を生きていた両親は、いつも同じ答えをくれた。

『アン、神さまはおまえを限りなく愛しているよ。
おまえのために特別なご計画を用意しておられるんだ』と。



両親は、私が身体的限界の困難さに捉われないで、神様が私たちになさったように、自分から先に人を愛するよう助けてくれた。

自分から先に愛してみると、自分の周りが変わっていくのを目にした。たくさんの人が私に対して心を開いてくれるようになり、また彼らの方もさらに、他の人に対して同じようになっていった。父は自分が亡くなってから読むようにと、私にメッセージを遺してくれた。

開いてみると『私の夜に闇はない』とだけあった。



これはまさしく私の日々の体験だ。自分の傍らの人を愛し、仕えることを選ぶたび、闇は消え失せ、神様の私への愛を味わうことができるから。」



「あの方の手に釘の跡を見なければ...
わたしは信じない」。

これはトマスの言葉です。彼はイエスが使徒たちに現れたとき、居合わせませんでした。

トマスは、イエスの時代のあとに続く、見る事ができないが信じるという状態にあるすべての世代を代表しています。

フオコラーレ
focolare.org/japan

「見ないのに信じる人は幸いである」

(ヨハネ20章29節)

この言葉でもって、
イエスがあなたに伝えたいと
思っている教えは何でしょうか？

イエスはあなたの心に、そしてご自分と共に生きる
ことのなかった人々の心に、**使徒たちと同じ体験が
できる**のだという確信を刻み付けようとしています。

あなたは決して、直接イエスを見た人たちに劣ることはない、
イエスは伝えたいのです。**あなたには信仰があります。**それ
こそが、イエスを『見る』ための新しい術（すべ）なのです。



いのちの言葉

どこでイエスに出会えるのでしょうか？



信仰によってあなたは、イエスを身近に感じる事ができ、
イエスのことをもっと深く理解でき、心の奥深いところに
おられるイエスと出会えるでしょう。

信仰によってあなたは、イエスのみ名のもとに二人、
三人のきょうだいのひとつになっているところに、
またイエスを継承する教会の内に、イエスの存在を
見出すことができるでしょう。



あなたにとって、信仰とは何ですか？

このイエスのみ言葉は、あなたの**信仰**をもっと奮い立たせ、霊的に成長するために目に見える支えやしるしに頼らないようにと、招いています。**イエスが遠くに感じられても**、あなたの人生において、また長い歴史のうちに、キリストが現存することを疑わないようにと、呼びかけています。



イエスの愛を疑ったことがありますか？ どんな困難な状況にあっても、大変な逆境に苛まれているときにも、ご自分の愛を信じてほしいと、イエスは切に望んでおられるのです。